

第 1 7 0 号

令和 5年 1月 1日
発行

働く願いを



みんなのものに

社会福祉法人 いなりやま福祉会

〒387-0021 千曲市稲荷山 2046-1

TEL026-272-6645 Fax026-272-6646

E-mail:mantennohoshikirakira@ybb.ne.jp

<https://inafuku4.jimdofree.com/>

発行人 安藤 正幸



年頭にあたり

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと存じます。

昨年はコロナ禍そしてウクライナ情勢などに伴い、インフレの加速や円安の進行、物価の高騰など毎日落ち込む様なニュースが多かった一方、冬季オリンピックやメジャーリーグ、ワールドカップなどスポーツ界での選手の活躍は私たちに感動を与えてくれました。

当法人では、昨年6名の新規の利用者さんが入所し、88名となりました。又、昨年民家を改修したグループホーム「いなほ」は一年が経過し、ホームの利用者さんは21名となりました。丸3年コロナ禍により生活様式は大きな変化を強いられてきましたが、当法人はwith コロナを目標に事業所毎に積極的に活動をしてきました。地域イベントの開催は困難でしたが、恒例の「いな福まつり」「バス旅行」「きらきらコンサート」などの催しは各事業所で工夫を凝らして楽しい催しとなりました。また、グループホームは記念行事として新幹線に乗って富山駅に行き、美味しい海鮮料理を食べ、買い物を楽しんできました。嬉しい出来事、また悲しい出来事もありましたが、何より利用者さんが毎日元気に登所し、たくさんの笑顔に溢れていたことが大変嬉しく思います。

今年は法人設立20年を迎えます。いなりやま福祉会は1980年任意団体として設立し、いなりやま共同作業所を開設、その後2003年に社会福祉法人の認可を取得し翌年に満天の星を開設するに至りました。ここまで地域の皆様と歩み続けてきた初心を忘れることなく、今年も役職員一同努力してまいりたいと思いますので、変わらぬご支援よろしくお願い申し上げます。皆様のご多幸とご健康をお祈りし、新年のご挨拶といたします。（理事長 安藤正幸）

2022年度 いなりやま福祉会上半期事業報告（抜粋）

11月2日に理事会を開催し、上半期の事業報告と会計報告、補正予算を承認いただきました。上半期の収支は順調でほとんどの事業でプラス補正することができました。

- 法人本部
 - ・近隣の土地を購入し、公用車、利用者さんや職員の駐車場として活用
- 満天の星
 - ・資源回収の回収場所、回収量の大幅アップと冷凍焼き芋を商品化 ネット販売を充実
- いなりやま共同作業所
 - ・新縫製製品、保育園グッズの販路拡大と、いな福のさくさくせんべいの新商品を開発
- はなたば
 - ・市民農園を借りて野菜作りを行い、収穫した野菜で「はなたばレストラン」を開催
- 地域活動支援センター
 - ・利用者さん1名が希望する職場に就職
- グループホーム
 - ・畑を始め土日等の余暇活動の充実 ショートステイは受け入れが困難のため減収
- 相談支援事業所
 - ・基幹相談支援センターや行政との連携を強化し、適切なサービス利用の継続



今年も皆さんの笑顔でいっぱい埋め尽くせる一年でありますように！



グループホームの仲間で「富山旅行」に行ってきました！！



グループホームは今年度でそれぞれ「こんぺいとう」17年目（平成17年開設）、「たんぼぼの家」13年目（平成21年開設）、「ふっくら」7年目（平成27年開設）を迎えます。そこで、遅ればせながら「こんぺいとう」15周年、「たんぼぼの家」10周年、「ふっくら」5周年を記念して、11月13日、19日、23日の3日間でホームごと富山旅行に出掛けてきました。



～旅行計画のはじまりは枝豆の収穫から～

ホームの休日の余暇活用にと始めたのが、枝豆を育てる畑作業でした。6月、職員宅の畑の一面に茶豆とこうじいらず大豆、ひとり娘大豆を蒔きました。その日は大変暑く、床をつくり、豆を蒔き、藁を乗せ水をかける仕事を仲間と職員は汗をかきながら行いました。

その枝豆も夏の暑さに負けずに立派に育ち、ホームの仲間、世話人や職員のお手伝いもあり大収穫となりました。特に大変だった作業は枝もぎで各ホームでは仲間が一生懸命に作業を行いました。収穫した枝豆は家族の皆様や世話人の皆さんに購入していただき、予想を上回る売り上げになりました。



～「そうだ！富山に行こう」～

売上金の多くはホームのお楽しみ企画として使わせていただくことになりました。企画を考える段階で仲間から「美味しいものを食べに行きたい」「せっかくなので遠出してみたい」「新幹線に乗りたい」といった声が聞こえてきました。

新幹線に乗って北へ行くか、南に行くか、迷いましたが、北陸の美味しいものを求めて、富山に行ってみようという意見は一致しました。運賃の一部と食事代を枝豆の売上金より補助する形で富山旅行の実現となりました。



～仲間の絆も深まった！？ 思い出に残る旅でした～



長野駅から北陸新幹線（かがやき号）に乗って約45分で富山駅に到着しました。新幹線はトンネルが多く車窓の景観は残念でしたが、車内はとてもゆったりしていて快適でした。

富山駅に到着後は駅前の商業施設内にある食堂で、富山湾の海の幸を堪能する事が出来ました。また富山の名産品や地酒などたくさんのお土産を買いました。

この旅では新幹線の乗り降りや、駅構内の移動など仲間同士が助け合って行動できました。各ホームの仲間の絆が深まった素晴らしい旅行でした。



仲間の感想

- ・お寿司が美味しかったです。こんぺいとうのみんなと仲良く旅行が出来て良かったです。（青木伸子）
- ・富山駅で初めて路面電車を見る事が出来て良かったです。お寿司がとても美味しかったです。（白井隆）
- ・新幹線に乗れて良かったです。お寿司も美味しく、お土産も買えて嬉しかったです。（荒井希美子）

今後もホームの仲間が楽しめる企画を考えていきたいと思っております。これからも引き続き宜しくお願い申し上げます。

（支援員 松本武典）



りんごが収穫できるまで～満天の星の挑戦～



↓ とにかく大豊作で嬉しい悲鳴です！



2021年秋、福祉会の職員より「以前、親が管理していたリンゴ畑を引き継いでくれないか。」と話がありました。福祉会の新たな自主製品と、果樹を栽培することで室内作業以外での気分転換や、季節の変化を肌で感じる機会、少しでも利用者の皆さんの収入につながればとの思いで承諾しました。りんごの木は全部で10本。果樹栽培は1年を通しての仕事があり冬から春は剪定を行い、利用者の皆さんに枝の収集を行っていただきました。寒い中でしたが皆さん頑張っていました。夏前の暖かくなってくる時期から徒長枝(太い幹から伸びる枝)の剪定作業があります。利用者の皆さんもハサミを使ったり、自らの手で取ったりすることで意欲的に関わることができました。収穫が近づいてくると太陽光をたくさん当て色をつけるため、実の周辺の葉を取ります。この作業も多くの利用者さんが関わり、力加減や、実を落とさないようになど難しい場面もありますが皆さん根気強く作業を行っていました。



朝、夕の冷え込みが厳しくなってきた11月下旬から収穫が始まります。リンゴはヘタを残して収穫しますが、初めての収穫の方が多く慣れない様子でした。時間が経つにつれヘタを残し収穫できるようになってきた方も増えてきました。片麻痺の方で、事業所内では躓きやふらつきが見られる利用者さんでも、畑ではリンゴの入った5～6kgのかごを片手に持ち、しっかりと足取りで自ら作業をする姿を見てとても頼りがいを感じました。

最初は不安だったりんご栽培も、地域の方に剪定の仕方や消毒に入っていただき何とか1年間を終えることができました。収穫できたりんごは全部で700～800kgほどで、リンゴの出来は小粒だったり、形が揃わなかったり、虫に食われたりと果樹を育てる厳しさを感じさせられましたが、味は蜜が入っているものも多く、購入していただいた方には美味しく召し上がっていただけたのではないかと思います。

来年度へ向け、摘果など難易度が高い作業など課題もありますが、福祉会の自主製品として定着できるよう多くの利用者の皆さんに関わっていただき、自信や、楽しみにもつなげていけるよう取り組んでいきたいです。

(管理者 荒井宏之)



横町カフェ (八幡屋磯五郎) 様のメニューに採用されました！



焼き芋ブリュレ
～フルーツ七味を添えて～

横町カフェ 〒380-0856 長野県長野市横町 86-1

TEL:026-232-8770 営業時間:10:00～17:00

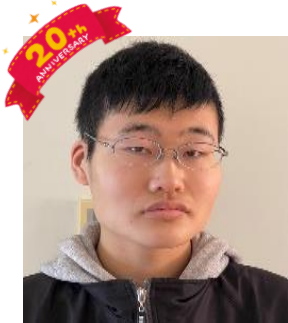
とてもありがたいことに、横町カフェ様の冬季限定メニューに満天の星の冷凍焼き芋を使っていただくことになりました。

その名も「焼き芋ブリュレ～フルーツ七味を添えて～」。

香ばしく焼き上げられた焼き芋の上には、冷たいジェラートがのっていて相性抜群です。その上にフルーツ七味をかけるとどんな味になるのか・・・それは食べてみてからの楽しみ♡

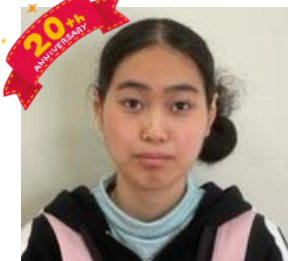
ぜひ、横町カフェ様にお立ち寄りください！





よこさわゆう た
横澤優太さん (いなりやま共同作業所)

僕は、声を出して話すこと、今は、緊張してできないのですが、これから少しずつ勇気をだして思っていることを相手に伝えられるようになりたいです。まわりの人ともいっぱいお話できるようになりたいです。お給料をためて自分で電車に乗って旅行もしてみたいです。



やなぎさわも え か
柳澤萌佳さん (いなりやま共同作業所)

20 歳になりました。やりたいお仕事は餡入れ作業と箱折りを頑張りたいです。
これからもお仕事を頑張ります。



たなかだい ち
田中大智さん (満天の星)

今年 20 歳となりました。20 歳になったということで、大人としての自覚をしっかり持って仕事に取り組んでいきたいです。また、新しいことにもチャレンジしていきたいです。

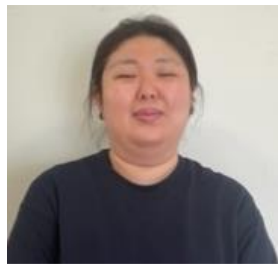
おめでとうございます



20 歳のお誕生日を迎えた 3 名の皆様

新しい利用者の紹介

さくらい ゆ み
櫻井由美さん (いなりやま共同作業所)



☆12 月から働きはじめました。
いろいろな仕事ができ毎日充実しています。これからもいろいろな仕事ができればと思います。
★笑顔がステキな櫻井さん、とても器用で丁寧に作業をしています。

あせらず、自分のペースで作業所の生活に慣れていってください。
(支援員 山崎美枝)

🎉 ご誕生おめでとうございます 🎉



産休に入られている西澤絵里さんより嬉しい知らせが届きました♪

「9 月 21 日に体重 3,500g の元気な男の子を無事に出産しました。母子ともに健やかに過ごしています。これからも色々とお世話になるかと思いますが、よろしくお願ひします。」

2022 年度冬季販売事業

ご協力ありがとうございました

この度の冬季販売事業へのご協力誠にありがとうございました。円安や物価高が進む中、多くの方に商品のご注文をいただき、感謝申し上げます。今回の販売では、満天の星からは千曲染め「サコッシュ」と A4 サイズのエコバック、いなりやま共同作業所からは「3 pocket ポーチ」を販売させていただきました。総数 161 個売上となりました。この販売事業の収益金は利用者の皆様へ冬のボーナスとして還元させていただきました。

ご協力本当にありがとうございました。

(支援員 神山佳大)

